

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本理念

社会・株主に対して存在価値の高い会社、顧客より高い評価と信頼を受ける会社、厳しい中にも公正で夢と誇りを持てる会社を目指す。

売上高
245億円

営業利益
15.50億円

連結純利益
15億円

海外事業収益比率
20%以上

② 中長期の経営戦略

1. 収益力の強化

竹本基礎工事㈱子会社化により材工一式受注を強化。タフシリーズのラインナップ増強、保有鋼材拡大、工事機械充実で工事売上・加工売上増を目指す。

3. 人的資本経営推進

多様な人材採用、就労環境・処遇改善によるワークエンゲージメント向上。フレックスタイム制導入、健康経営認定取得に向けた施策実施。

2. 新商品・新工法開発

環境配慮商品、工期短縮・コストダウン工法の開発。工場の機械化・自動化・省力化、労働災害撲滅に向けた安全性向上を推進。

4. サステナブル・2024問題対応

重仮設鋼材の繰り返し使用による社会貢献。在庫管理最適化、共同配送実施、ITやAI活用による物流効率化で運送回数削減。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・通商政策の影響による金融・為替市場、国内経済、物価変動への対応
- ・資機材価格高騰への対策
- ・技術労働者の高齢化、人手不足に伴うコスト上昇への対応

② 収益性向上目標の達成

- ・ROE8.5%以上、2028年度連結純利益15億円以上の実現
- ・PBR1倍以上への改善
- ・ネットD/Eレシオ0.3倍程度の維持

③ グループシナジー創出

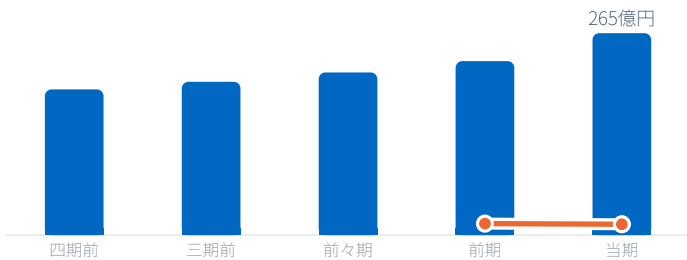
- ・竹本基礎工事㈱との技術・ノウハウ活用による収益力強化
- ・5期営業キャッシュフロー75～85億円確保と成長・人的投資の配分
- ・グループ全体の競争力向上と事業拡大の実現

面接で使えるポイント

- ・建設用重量仮設鋼材の賃貸・販売・工事業を通じて社会資本整備に貢献している企業。
- ・2024年度～2028年度の中期経営計画で6つの成長戦略を展開し…
- ・竹本基礎工事㈱子会社化、海外事業（タイ・中国）拡大、DX推進により持続可能な社会に貢献する経営を実践している。

証券コード 9763

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
265億円営業利益率
5.4%財務健康度
39点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 51.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
764万円

卸売業内 83位/282社

平均年齢
45.7歳

卸売業内 55位/283社

平均勤続
17.1年

卸売業内 41位/282社

女性管理職
2.6%

卸売業内 171位/209社

男性育休
100.0%

卸売業内 59位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 丸建リース(株)【9763】：決算情報

